

2021 土曜
123
15:00/19:00
2回公演

踊り・声
ほか

堀川久子

鈴木正美

サックス・クラリネット
ほか

「やってくるもの・流れ出すもの・身体から身体へ」

音楽と踊るシリーズ 1 鈴木正美さんとの即興

鈴木正美さんとの出会いは、2005年頃だったと思う。鈴木さんが稚内から新潟大学文学部の教授として来られた後、「ちょっと面白い演奏者が新潟に住み始めたよ」と、ジャズ評論家の副島輝人さんのご紹介だった。その後に聖籠町二宮邸の米倉や西蒲区の福井の集落や佐藤家での公演をかわぎりに、新潟での私の様々な試みに参加して下さってきた。最近では、鈴木さんが企画しておられるロシアの演奏家や詩人を招いての即興演奏の会『ロシアから即興の風が吹いてくる』に、私が参加させていただいている。鈴木さんは場所の空気を演奏する。話し声が小さく静かな佇まいの鈴木さんが吹くサックスは、時として爆裂する。二人だけで公演することはとても久しぶり、楽しみだ。（堀川久子）



堀川久子 Horikawa Hisako

即興舞踊家。新潟市に生まれる。舞踊家・田中沢の主宰した身体気象研究所、農場、舞塾などでの20年の活動の後、1998年に新潟市に移住。新潟市を拠点にヨーロッパでも活動しながら踊っている。場所に生まれる踊り、人、物との間に生まれる踊り、外界の要素を身体に取り込みながら、そこに生まれてくるものを眺めていく。野外の様々な場所でも踊ってきた。美術・音楽・語り芸など様々なアートとの共同作業も多い。知的障害を持つ人々とのワークショップも模索しながら長年続けている。郷土の伝統芸能を訪ね歩いている。なにげない1ミリ隣に新たな踊りが潜んでいる。

鈴木正美 Suzuki Masami

1959年生まれ。早稲田大学在学時よりグループ「フリーミュージック・マシーン」でジャズを演奏する。1990年、ロシアの即興演奏グループ「アルハンゲリスク」のリーダー、ウラジーミル・レジツキイとの出会いがきっかけで即興演奏を模索し始める。ソロ演奏の他、ガイヴォロンスキイ&ペトローヴァ、レートフ、ストリヤル、プリゴフ、スホーチン、河崎純、堀川久子等、音楽だけでなく、詩の朗読や舞踏との共演による即興演奏にも取り組んでいる。



砂丘館

一般 2,000円 / 高大生 1,500円

(定員: 各回20名)

連絡先(電話番号)、人数を添えて砂丘館へ
電話、FAX、メールでお申込ください。

◆ TEL.FAX. 025-222-2676

◆ E-mail sakyukan@bz03.plala.or.jp

会場: 砂丘館 和室 新潟市中央区西大畑町5218-1

〈新潟駅万代口より浜浦町線C2系統又は
観光循環バス「西大畑坂上」下車徒歩1分〉

砂丘館には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。
公共交通機関をご利用ください。新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は駐車券提示にて1時間分の無料券を差し上げます。

私たちは砂丘館の自主事業を応援しています。

主催: 砂丘館

指定管理者: 新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体

愛知県株式会社 NSGグループ ISHIKAWA 新潟ビルサービス 丸屋本店 藤田会館 WIND 郷土の文化に親しむ会

*新型コロナウイルス感染予防対策を講じて開催いたします。*ご参加にあたってはマスクの着用をお願いいたします。また当日検温を実施させていただきます。